

16 文法のみとめ あいまいな文・論理構造

組	
番号	
氏名	

1 次の各例文を二つの意味に取れるように、読点を打って書きなさい。

例文① ここではきものをぬぎなさい。

ここで、はきもの(履物)をぬ(脱)ぎなさい。

ここでは、きもの(着物)をぬ(脱)ぎなさい。

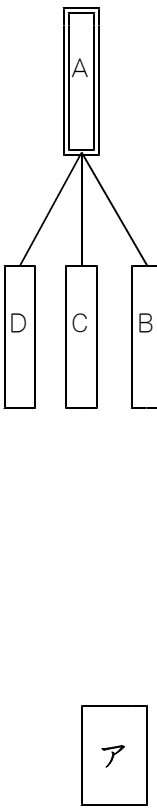
例文② 山田さんのように努力できない人には上達は難しい。

山田さんのように、努力できない人には上達は難しい。

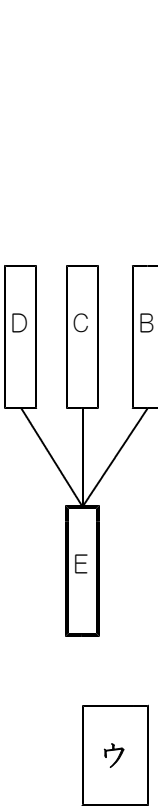
山田さんのように努力できない人には、上達は難しい。

2 次の図に当てはまる「文章の論理構造」を後の文例を参考に、ア、頭括型、イ、双括型、ウ、尾括型から選んで [] に記号で答えなさい。

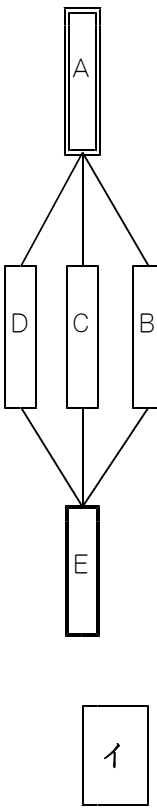
① 初めに主題を示し、次に具体的説明や論証をする。



② 初めに事実や事柄などを述べ、最後にそこから導かれる結論を示す。



③ 初めに主題を示し、説明などを加えてから、再び結論(主題)を示す。



(文例)

A 春は出会いと別れの季節である。
 B 入学式は新しい友達や同級生との出会いが待っている。
 C また、対面式や部活動入部では先輩との出会いもある。
 D しかし、三月には卒業という別れを経験している。
 E だから、三月は悲しみと喜びが複雑に絡み合っているのだ。

3 次の問題に答えなさい。

「先生の教えてくださったことを他山の石としてがんばります。」この言い方には誤りがあります。なぜ誤りなのか分かりやすく説明しなさい。

(例) 他山の石は、他の人の犯した失敗を教訓にすることなので、使い方として間違っている。

4 次のうち傍線部の言葉の使い方が正しいものはどれか。その記号を書きなさい。

ア 幼なじみの彼とはなぜか昔からうまが合った。

イ 迷子の犬が戻ってきたので、彼はほっとして肩を落とした。

ウ 修学旅行の班別活動で、私たちは路頭に迷った。

エ 母は父の意見に反対らしく、しきりにあいづちを打った。

「ア」

5 次の①～③の問いに答えなさい。

① 次の□の部分に入れるのに最も適切なものを後から選び、記号で書きなさい。

先日、親しい友人が思わぬ事故に遭った。ただ比較的軽いケガで済んだのは□だった。

ア けがの功名 イ 不幸中の幸い ウ 転ばぬ先のつえ

エ 油断大敵 オ 楽は苦の種 苦は楽の種 「イ」

② 「一度してしまったら取り返しがつかない」という意味のことわざとして最も適切なものを、後から選び、記号で答えなさい。

ア 雨降って地固まる イ 身から出たさび

ウ 覆水盆ふくすいぼんに返らず エ 焼け石に水 「ウ」

③ 次のア～エから、A 「つじつまがあわないこと」 B 「本質的には変わらないこと」の意味で用いられるものを、それぞれ答えなさい。

ア 推敲 イ 矛盾 ウ 漁夫の利 エ 五十歩百歩

A 「イ」

B 「エ」

【調】ア～エは中国の古い史実や伝説などがもとになって生まれた言葉であるが、このよ
うな言葉を何と言うか、調べてみよう。